



五中だより



第8号(12月)
令和6年12月23日(月)
調布市立第五中学校
校長 小坂 力

校長先生のお話

【いのちと心の教育月間】

12月は、調布市が定めている「いのちと心の教育月間」です。そのため、「教科 道徳」の中で「生命尊重」にかかわる学習を設定したり、学級活動等で人権について考える機会を設けたりしています。

今月の全校朝礼では以下のように「こころのえほん(ポプラ社 著者: なかえよしを 絵: 上野紀子)」という絵本の読み聞かせをしました。

今月は「いのちと心の教育月間」です。そこでみなさんに「こころ」について考えてほしいため、今日は絵本の読み聞かせをします。

※抜粋

「こころはめにはみえません。でもとてもたいせつなものです。」

「こころがからっぽのひとは、ともだちやどうぶつ、しぜんなどをへいきでいじめることができるのです。それは、こころがからっぽなので、いじめられるものこころがわからないのです。」

「こころはみえなくても、ときどきかたちになることがあります。おかあさんがあなたのためにつくってくれるおべんとうやおようふく、それはおかあさんのこころがかたちになったものなのです。」

「こころはみえないからといって、ないといえますか。」

「こころはものすごいものなのです。そんなすごいこころというものをあなたはもっているのですよ。」

しっかり読み聞かせを聞いてくれてありがとう。

最後に「星の王子様」にこんな名言があるので紹介します。

「かんじんなことは、目に見えないんだよ」

ぜひ、みなさんには自分のこころも、他人のこころも大切にしてほしいと思います。

子供たちは、よく話を聴き、全校でいい雰囲気を作ってくれたと思っています。

改めて、今学期子供たちは本当によく成長しました。学校全体でいい言葉を使い、話を聴きあえる集団づくりをこころがけ、まさにお互いに「こころ」を遣いあっている場面を多く見ることができました。

前回の学校だよりでも書きましたが、3年生は校長・副校長と放課後等の時間で「面接練習」をしています。その中で、「五中のいいところや自慢できるところはなんですか」と聞くようにしています。するとほとんどの生徒が笑顔で「お互いがいい雰囲気を作ろうとしている本当によい学校です。」「思いやりのある人ばかりです。」「先生と生徒の距離感がよく、日本一の学校です。」と「こころ」から言ってくれます。

保護者・地域の方々には、今学期も五中の教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございました。来学期、さらに五中がよい学校になり、子供たち一人一人が「日本一の学校」と言えるような教育活動を実施していきたいと思っています。

CS通信

12月16日(月)に第7回学校運営協議会を開催しました。

年末の開催ということで、4月からこれまでの五中の教育活動を振り返り、学校課題に関する熟議を行いました。まずは小坂校長から、前回11月に行われた第6回学校運営協議会以降の学校の状況や生徒たちの様子についての報告がありました。

報告の後は、模造紙に五中の教育活動を①授業、②学校行事、③部活動、④その他の4つに分け、協議会の方々にはそれぞれについて、ブレインストーミングの手法で、よい点は青い付箋に、課題点は赤い付箋に記入して貼っていただきました。これまで部活動や授業を参観したり、教職員や生徒会本部役員と直接話したりして見えてきた、良い点や課題点が模造紙に張り出され、全体でそれらの意見を共有しました。ここで出た意見は教職員にフィードバックし、今後の教育活動にいかせるようにしていきたいと思っています。



道徳授業地区公開講座

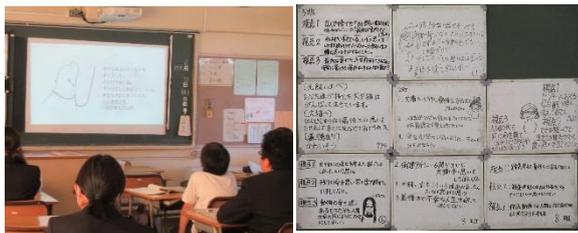
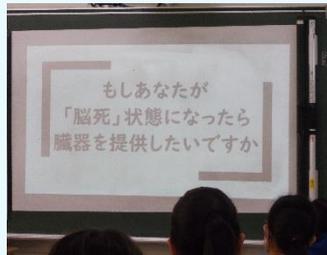
12月18日(水)

東京都では、学校、家庭及び地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、道徳教育の充実を図る目的で、道徳授業地区公開講座を開催しています。本校では12月18日(水)に、全学年で道徳授業を行いました。当日は保護者や地域の皆様に参観いただく予定でしたが、校内でインフルエンザ感染症が流行した影響で、授業の公開と意見交流会を中止しました。

つながる命

1学年は、ペットなどの「身近な生き物の命について」をテーマに授業を行いました。犬猫に関する環境省の調査資料や、日本動物愛護協会のペット飼育に関するポスター、犬猫の殺処分を行う施設の職員の仕事を追った文章と写真を通して、生き物の命を大切にしていこうとする心情を育てることをねらいとしました。保健所などに運ばれ殺処分となる犬や猫など多くは人間の勝手な都合であることが多いことを学び、小さい生き物でも大切な一つの命であることがわかりました。犬や猫などのペットを飼っている生徒も多く、無責任に飼い始めること、人間の勝手な都合で捨ててしまうことを自分のことに置き換えて身近に考えることができました。

2学年は「生命尊重」をテーマに「つながる命」について考えました。脳死となった幼い女児の両親がその女児の臓器提供を決断したという新聞記事を題材に、その結論に至った父母の苦悩に寄り添うことで命の連続性、有限性について理解するよい機会となりました。



3学年は、「尊厳死」をテーマにしました。祖父の意思に反して延命措置を施すことに葛藤する家族の姿を通して、自分だけでなく他者の命を尊重することについて考えました。「命を大事にする」とは限りある「生きている時間をどう大切にしていくか」という意味だと学びました。延命措置をすることによって長くなった「生きている時間」が、本人や家族にとってどういうものだったか考え、「命の選択」という正解のない題材について、自分の考えをまとめました。

捨てられた悲しみ

命の選択

SNS五中ルール

スローガン

家族と話そう SNSを楽しむために

三箇条

其の一 使う時間と場所を守ろう
～時間と場所～

其の二 人を傷つけるような内容や写真などの個人情報を載せるのはやめよう
～迷惑行為とプライバシー～

其の三 知らない人とのやりとりはやめよう
～セキュリティ～

SNSの使い方

☆SNS五中ルールを守って使おう。

☆家庭での使い方について家族の人と話そう。

☆SNSの情報はすべてが安全ではありません。判断する力をつけよう。

自転車の乗り方 R6.11 罰則強化

『ながらスマホ』はダメ！

自転車運転中にスマホで通話すること、スマホに表示された画面を注視することが禁止になりました。自転車を停止させて使用しよう。

そのほか、「酒気帯び運転およびほう助」「傘さし運転」「イヤホンやヘッドフォンを使用しながらの運転」「二人乗り」「並進(並走)運転」も禁止です。

2024 冬休み

たのしい冬休み☆
安全安心に過ごしましょう。

□■12月の指導の重点■□

「自分を振り返り来年に向けて、夢や希望に満ちあふれる学校を目指す」

- 1 今学期を振り返り、反省した点や評価された点を深く考える。
- 2 来年の「目標」を決めて、具体的に取り組む。
- 3 冬休み中も規則正しい生活を送る(早寝・早起き・朝ご飯)。



五中生の活躍

ボランティアダンス部

ボランティア・スピリット・アワードで『コミュニティ賞』を授賞

〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 調布市上石原3丁目27番地1

電話 042(484)1311

ホームページURL

<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/>